

壬生町おもちゃ博物館

クライミングウォールお披露目式

～「ワクワクの丘」のクライミング遊び♪～



目次 CONTENTS

- ◆地域に活力を！
 - 地域おこし協力隊員の導入 ……2～3
- ◆12月定例会で決められた概要等 ……4
- ◆議案に対する賛否状況 ……5
- ◆一般質問 ……6～11
- ◆常任委員会の閉会中における所管事務調査報告等 ……12
- ◆視察来町・県議長会研修会 ……13
- ◆その他 ……14

の導入

おもちゃのまち駅と
西口モニュメント



特別職の職員で、非常勤のものものの報酬
及び費用弁償に関する条例の一部改正

地域おこし協力隊員に対する報酬を
月額166,000円と定める

決定

地域おこし 協力隊員とは



国が、平成21年度より

人口減少や、高齢化等の進行が著しい地方に

において、地域外の人材を積極的に受け入れ、

地域協力活動を行ってもらい、その定住・定

着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズ

に応えながら、地域の維持・強化を図ってい

くことを目的とした制度です。

壬生町では3人募集します。

ここがききたい！

問

募集要領によると、面接での採用とな
っているが、募集に関しての工夫はあ
るのか。

地域に活力を！

地域おこし協力隊員

来年度
から



みぶハイウェーパーク
みらい館

情報
発信

小学校に配置された
ボルダリングウォール



スポーツ
振興！

役場入口道路で開催された
ライデンマルシェ



まちなか
創生

答

国の交付金が受けられる期間が3年と
なっているため、当町でも併せて3年
とします。

問

任期は1年以内で、**最長3年は決定事
項なのか。**

に勤務していただきます。
時までの間で、原則週4日30時間以
内です。基本的には、決められた時間

答 問

勤務条件の詳細は。

勤務時間は、午前8時30分から午後9
税で最大400万円を活用して実施す
る予定です。一人当たりの報酬額が2
00万円、活動費で200万円です。

答

問

**事業費の負担はどのくらいになるの
か。**

テーマの具体性を持たせて募集をかけ
れば、興味を持ってくれるのではない
かと期待しています。

答

12月定例会

今回の定例会は、町長から提出された専決処分1件、条例改正3件、条例廃止1件、補正予算5件の10議案が上程され、いずれの議案も原案のとおり議決しました。

主な議決の内容

専決処分

一般会計補正予算第3号を承認

平成29年10月22日に執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に要する経費を、一般会計補正予算第3号として予算措置したものです。

衆議院の解散後、直ちに選挙執行に要する歳出が見込まれることから、専決処分をしたものです。

本会議で審議の結果、全会一致で承認しました。

条例

適正な個人情報の取扱いの確保

「個人情報保護法等改正法」及び「行政機関個人情報保護法等改正法」に伴い、適正な個人情報の取扱いを確保し、必要な措置を実施するため、「壬生町個人情報保護条例」及び「壬

生町個人情報公開条例」の一部改正を行うものです。

主な改正点は、個人情報の定義が改正され「個人識別符号」が個人情報として明確化されたこと、また、不当な差別や偏見が生じないように、特に取扱いに配慮を要する個人情報として「要配慮個人情報」として新たに個人情報として定義づけを行うものです。

本会議で審議の結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

消防団員の資格要件を緩和

消防団員の資格としての居住要件を町内居住者に加え、町内に勤務または通学している方、消防団の活動を適切に行うことができる方とし、年齢については20歳から45歳だったものを、18歳以上で上限をなくし、幅広い年齢層の方に消防団に加入していただけるよう条例の一部改正を行うものです。

本会議で審議の結果、全会一致で、原案のとおり可決しました。

平成29年度 補正予算(平成29年12月定例会可決)

会計名等		補正額	補正後の予算額	補正の主な理由及び事業
一般会計(第3号)		1,682万4千円	126億9,425万8千円	衆議院議員選挙執行のための経費を計上するもの。
一般会計(第4号)		1億180万3千円	127億9,606万1千円	事務事業の精査を行い、過不足額を計上するとともに、国庫補助金の確定、施設の適正な管理運営のために緊急を要する修繕等を計上するもの。 ・ふるさと応援寄附金推進事業 2,653万6千円 ・まちづくり推進基金費 5,000万円 ・子どものための教育・保育給付事業 2,031万7千円 ・清掃センター維持管理事業 1,877万円
特別会計	公共下水道事業(第2号)	232万8千円	15億8,228万6千円	建設事業の実績見込みによる減額及び施設の適正な維持管理に要する経費等を計上したものの。 ・管渠築造費 ▲841万2千円 ・流域関連公共下水道事業費 1,005万7千円
	介護保険事業(第2号)	485万5千円	29億9,789万円	介護給付費等の所要額を見直したものの。 ・一般管理費 99万4千円 ・地域密着型介護予防サービス給付費負担金 62万円 ・介護予防サービス計画給付費負担金 57万5千円 ・訪問型サービス事業 246万4千円
	後期高齢者医療(第2号)	31万円	3億9,611万1千円	保険料還付金の精査によるもの。
水道事業会計(第1号)	収益的収入	12万円	6億4,442万1千円	職員給与費等の精査によるもの。
	収益的支出	211万7千円	5億2,128万3千円	
	資本的支出	29万7千円	4億3,278万9千円	国庫補助金に係る消費税返還金を計上したものの。

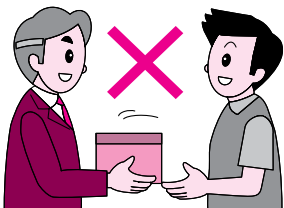
議案に対する賛否状況

※鈴木理夫議員は議長のため採決に加わりません。

議案番号	議案名	遠藤 恭子	赤羽根 信行	河野 恒雄	小牧 敦子	坂田 昇一	玉田 秀夫	田村 正敏	中川 芳夫	市川 義夫	榎井 聡	大島 菊夫	落合 誠記	高山 文雄	細井 敬一	小貫 暁
議案第1号	専決処分第4号の承認を求めることについて (平成29年度壬生町一般会計補正予算(第3号)の専決処分)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第2号	壬生町個人情報保護条例及び壬生町情報公開条例の一部改正について (「個人情報保護法等改正法」及び「行政機関個人情報保護法等改正法」に伴い、適正な個人情報の取扱いを確保し、必要な措置を実施するための改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について (町外の人材の定住・定番と地域の活性化を促進するため、地域おこし協力隊の導入を図るための改正)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	壬生町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税免除に関する条例の廃止について (法律改正に伴い、固定資産税の課税免除及び地方交付税の減収補てん制度の対象にはならないため廃止)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	壬生町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について (団員の資格としての居住要件、消防団に加入できる年齢要件緩和のための変更)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	平成29年度壬生町一般会計補正予算(第4号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	平成29年度壬生町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	平成29年度壬生町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	平成29年度壬生町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	平成29年度壬生町水道事業会計補正予算(第1号)決議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

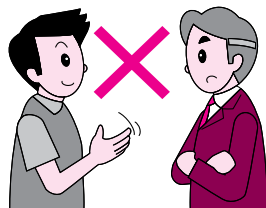
○：賛成 ●：反対

三ない運動



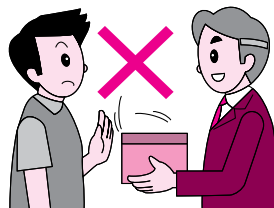
政治家は有権者に寄附を

贈らない



有権者は政治家に寄附を

求めない



政治家から有権者への寄附は

受け取らない

「贈らない、求めない、受け取らない」という「三ない運動」を行なっています。

政治家(候補者、立候補予定者、現に公職にある者)と私たち有権者とのつながりはとても大切です。しかし金銭や品物で関係が培われるようでは、いつまでもたっても明るい選挙、お金のかわらない選挙に近づくとはいけません。

寄附の禁止

放課後児童クラブの更なる充実を問う

民生部長 根本的な在り方を検討します



遠藤 恭子 議員

問 公設民営の放課後児童クラブは、保護者会の運営となっているが、保護者の負担軽減策とは。

民生部長 保護者の負担が大ききことから新規で整備する稲葉小の学童保育運営は保護者会ではなく、公的団体に委託する検討をしています。他も順次予定しています。

既に入会の選考は町の実施に変更しました。

切れ目のない子育て環境の充実を

問 本町の産後うつ対策の全容と、子育て世代包括支援センター設置計画の概要はいかがか。

民生部長 生後4カ月までの乳児のいるすべての家庭を訪問、質問票による母親の精神

面リスク把握、養育支援訪問、

出産母子相談を実施しています。今後、産後1カ月で産後健診を実施し、産後うつを早期発見、早期介入を図ります。

こども未来課にセンターを開設し、母子保健コーナーディネーターとして助産師などを配置することを検討中です。

高齢者福祉の向上を

問 高齢者に対する相談窓口となっている地域包括支援センターの役割は。

町長 相談件数は年々増加し、内容も複雑になっています。平成30年度から認知症初期支援集中チームの構築の課題もあるため、機能強化を検討していきます。

問 睦小学校の放課後児童クラブは、需要増に対する新たな対応や、校庭への専用施設の開設が望まれているが、具体的な計画はあるのか。

民生部長 現在の学童に隣接する教室の一部を改修し、定員を増員する予定です。また、校庭での開設は今後の需要動向を見ながら検討していきます。

問 どの地域に住んでいても平等に子育てができる環境が必要である。学童が未設置の藤井小学校と羽生田小学校への考えは。

民生部長 小学校間で差があることは好ましくはないことから今後、全小学校への整備又は送迎の実施など何らかの形で環境整備を考えています。まずは2校の保護者の意向を踏まえ結論を出していきます。



今後 需要増加が見込まれる放課後児童クラブ

健康寿命のまちづくり推進事業を問う

町長 町民一人ひとりの健康の実現に向けた事業を展開します



細井 敬一 議員

民生部長 働き盛り健康支援事業は町内の事業所や自治会、各種団体に普及させ、実施者には健康宣言認定書を交付します。

健康都市宣言は今後そのような町を目指し取り組みたいです。

教育長 平成31・32年度に車塚、牛塚、愛宕塚の3つの保存活用計画書を策定予定です。また、茶臼山、吾妻は平成34年度を目標に発掘調査及び保存活用計画書の策定の終了を予定しています。

車塚古墳の整備は復元する方法と現在の状態のまま周辺環境を整備する方法の2通りがあり、良好な状態で次世代に引き継げるよう検討します。

きながら、より有効的な整備の仕方を模索します。

問 「みぶまち・獨協健康大学」、獨協医大との「共同研究」、「健康リーダー育成」の3事業は町民の健康寿命の延伸に寄与しているか問う。

「働き盛り健康支援事業」はまち全体に波及推進するかの。「健康都市宣言」を目指し寿命の延伸に取り組む提案を求める。「学校での健康授業」を問う。

町長 みぶまち・獨協健康大学の修了生は延べ156名になり、次年度は座学的講座に加え看護学生との共同研究や在宅医療、介護の実践的演習など新企画を検討しています。

共同研究は健診受診者の尿中塩分濃度を測定。要介護認定の因果関係を疫学的に分析する研究に取り組んでいます。健康リーダー育成は各講演会の開催、ラジオ体操の推進、よりみちカフェの参加等や意見交換会を実施しました。

古墳群の史跡整備事業を問う

問 本町は県内屈指の大型古墳群が集中し、出土する埴輪も全国的に有名である。

各古墳の「保存活用計画書」策定の状況を問う。車塚古墳群を史跡公園として復元整備を求める。

町長 国指定の古墳が4つある誇れる町と想っています。何よりも、昔の人が作り上げたということの子供たちが目にして、また、そのような体験ができれば一番いいのかなと思います。保存の仕方は学者の中でも大きく分かれます。今後、有識者の方からご意見をいただ



高崎市 復元整備した八幡塚古墳

見直される介護保険

民生部長 第七期介護保険事業計画に沿って進めます



高山 文雄 議員

人口減少時代その
対応、PDCAは

子育て支援事業計画等、各分野で掲げた計画を着実に推進します。

問 町長が掲げた人口ビジョン。壬生町創生総合戦略。その実現性と課題は。

副町長 戦略プロジェクトについては、国の地方創生事業等を積極的に活用し、おおむね順調に進んでおります。さらに、近隣市町との連携や、栃木県域全体での事業も実施しています。今後も総合振興計画実施計画や予算にしっかりと計上し、事業の推進に努めます。

問 厳しい財源と膨らむ給付、効率的な政策の実施が求められる。介護保険制度の見直しで深化推進のための基盤整備を急ぐべき。

問 地域包括ケアシステムと医療・地域・介護連携と認知症施策を推進すべき。第七期の介護保険料は慎重に分析し検討すべき。

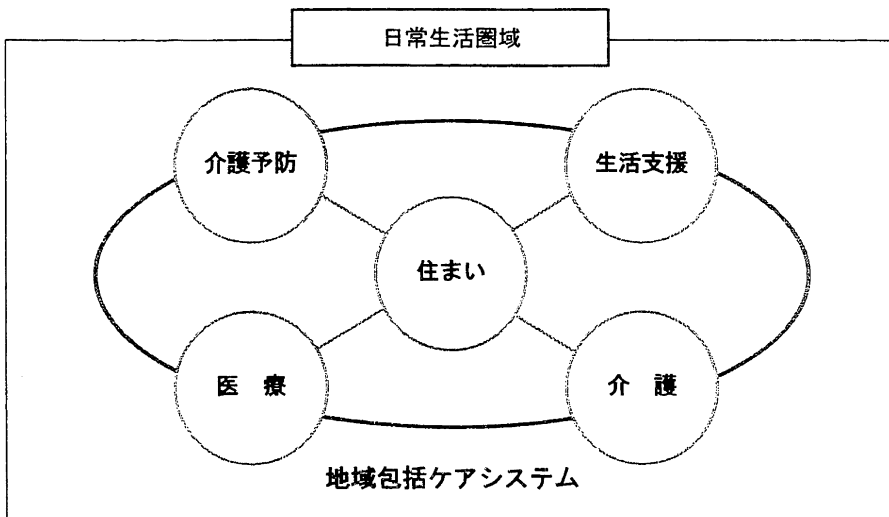
民生部長 第七期介護保険事業計画において、高齢者福祉計画の基本理念であります「町ぐるみで支え合う地域社会の実現（高齢者がいきいきと健康で生きがいを持ち住み慣れた地域で安心して暮らせるまち）」を目指します。

民生部長 地域包括支援センターの機能の強化をし、医療や介護など関係機関のほか、地域福祉と連携していきます。第七期の介護保険料についても、国のシステムに基づいて策定してまいります。

問 都市計画、高齢福祉施策、子育て環境の充実、教育文化の向上、各種産業の課題を問う。

副町長 今後も壬生町創生総合戦略を初め、都市計画マスタープランや壬生町子ども・

■ 地域包括ケアシステムのイメージ図



ここが聞きたい Q&A

一般質問

子育て支援の芽を育てる予算を

民生部長 **さらなる施策の充実に取り組んでいきます**



小貫 暁 議員

問 来年度予算は町の特徴を生かせ。これまでの子育て支援を拡充すべきでは。

副町長 当町の子育て支援事業について、各種子育て支援の充実を図ってきました。平成30年度における具体策として、放課後児童クラブの施設整備事業を予定しています。

若者の定住策講ぜよ

問 人口減少の抑制には若者世代への家賃補助等の生活支援が欠かせないが対策は

副町長 新たな居住基盤の整備を図るため、六美町北部土地区画整理事業を推進し、早期の事業着手に向けて準備を進めています。

また、空き家の活用を図る空き家バンクの創設に向け、現在準備を進めており、若者の定住促進につながる各種施策については、先進事例等を参考に調査、研究を進めていきたいと思います。

新庁舎場所選定は民意で

問 役場の建て替え準備が進められているが、庁舎建設場所選定は重要だ。住民意志を反映させる対応を問う。

総務部長 経過等について、町広報等、随時お知らせをし、基本構想の素案ができた段階で、パブリックコメントの実施により、広く住民の皆様のご意見等をお伺いしていきます。今後、50年、100年先の本町の発展を見据えながら、住民の皆様が望まれる新庁舎の整備を推進していきたいと思います。

水道水に思川水源を押しつけるな

問 計画されている県南広域的水道整備事業は二市一町（栃木市、下野市、壬生町）に思川水を押しつけ、水道料の値上げになる。利害関係者の町民意思を問え。

総務部長 今後、事業の進捗状況により、県側から事業に関する諸資料が揭示された場合、適宜、議会並びに住民の皆様への報告、または説明会等の開催を検討しています。

県南広域的水道整備事業経費試算(2013年第2回検討部会資料 11月5日)

	水量			水源開発費	施設建設費 (浄水場等)	維持管理費 (20年間)	計
	m ³ /日	m ³ /秒	割合				
栃木市	20,699	0.239	59.3%	21.3 億円	122.7 億円	49.8 億円	193.8 億円
下野市	8,785	0.101	25.2%	9.1 億円	52.2 億円	21.2 億円	82.5 億円
壬生町	5,425	0.063	15.5%	5.6 億円	32.1 億円	13 億円	50.7 億円
野木町	—	—	—	—	—	—	—
合計	34,909	0.403	100%	36 億円	207 億円	84 億円	327 億円

県南水道用水供給事業のスケジュール(2014年第1回検討部会資料 7月16日)

	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42
広域計画策定	■									
許可申請		■								
用地取得			■							
認可取得				■						
施設工事					■					
給水								■	■	■

ここが聞きたい Q&A

一般質問

若者のひきこもりに支援の手を

民生部長 総合的な支援を考えています



小牧 敦子 議員

より高齢者に使いやすい移動手段を

問 デマンドタクシーは公費負担が大きい。また国は規制緩和し高齢者移動手段の活性化を推進。地域住民が運営する新しい移動支援導入の検討はいかがか。

きたいと思えます。

問 子どもや高齢者誰もが安心して食事や会話を楽しめる「子ども食堂」の支援についての考えは。

民生部長 現在、町内には二つの子ども食堂があり、どちらも子どもたちと高齢者のふれあいの場も兼ねているようです。今後、町として子ども食堂に対してどのような支援が可能か調査、研究していきたいと考えています。

問 全国的に増えているひきこもり。相談や社会復帰プログラムにつなぐために実態把握をする考えは。

民生部長 生活、地域、学校などにかかわるさまざまな相談窓口や住民との接触の中から、ひきこもりの実態を把握することに努めています。今後はひきこもりに関する情報提供を推進するなど、相談する場があることを多くの方に知っていただくとともに、行政、家庭、地域、学校などが連携して、調査、研究してい

健康福祉課長 国土交通省の高齢者の移動手段の確保に関する検討会で、十分な連携、共同を図ることを求める中間取りまとめがされているようです。地域による移動支援導入につきましては、検討会の取りまとめた内容を精査のうえ、研究していきたいと考えています。

退職者の経験値を生かした取り組みは

問 職員の大量退職時代。経験を生かし自治会のサポートや若年職員の育成にあることはいかがか。

総務部長 退職職員は、自治会等の地域では長年の業務経験で築いてきた地域とのかけ橋になり、また若手職員育成ではよき手本となる存在である

ることから、再任用制度等により、経験を効果的に各種事務、事業へ活用していきたいと考えています。

ひきこもりについて

定義

様々な要因の結果として、社会的参加(義務教育を含む就学、非常勤職員を含む就労、家庭外での交友)を回避し、原則的には6か月以上にわたって概ね家庭にとどまり続けている状態(他者と交わらない形での外出をしてもよい)を示す現象概念。

※ ひきこもりは、原則として統合失調症の陽性あるいは陰性症状に基づくひきこもり状態とは一線を画した非精神症性の現象とするが、実際には確定診断がなされる前の統合失調症が含まれている可能性は低い。

「ひきこもりの評価・支援に関するガイドライン」より

推計数

内閣府関係調査

広義のひきこもり状態にある者 54.1万人、狭義のひきこもり状態にある者17.6万人

平成28年9月 「若者の生活に関する調査報告書」より

厚生労働省関係調査

ひきこもり状態にある世帯数 約26万世帯

平成18年度 厚生労働科学研究「こころの健康についての疫学調査に関する研究」による推計

把握方法

○把握方法 全国11の地域の住民から無作為に抽出し、調査に協力いただいた4,134名を対象に、調査員の戸別訪問により直接面接を実施

(平成14～17年度にWHOの主導する国際的な研究プロジェクトである世界精神保健調査に参画して実施)

調査結果

面接を受けた対象者全員の中で、現在、ひきこもり状態にある子どものいる世帯は、0.56%。

全国の総世帯数にこの率を乗じて、ひきこもり状態にある世帯は、約26万世帯と推計。

厚生労働省HPより

Q&A

ここが聞きたい

一般質問

医療制度改革への対応を問う

民生部長 医師会との連携体制を推進します



落合 誠記 議員

シティプロモーションの進捗と展望を問う

問 ①地域ブランドづくの進捗と展望を伺う。
②自治体間競争が重要だが、進捗と展望を伺う。
③シビックプライドの醸成の進捗と展望を伺う。

問 ①地域包括ケアシステムの推進と医療機能の分化・強化、連携への見解は。
②新しいニーズにも対応できる安心安全で質の高い医療の実現・充実への見解は。
③医療従事者の負担を軽減する働き方改革への見解は。
④効率性・適正化による安定性・持続可能性への見解は。

民生部長 ①質の高い医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築が必要と思われま

本町では、関係機関の連携体制の構築を推進しています。
②患者自身が医療を選択し、医療の中で重点的な対応が求められる分野を適切に評価していくことが重要と考えます。
③医療環境の整備を推進することは重要であると考えます。
④国民皆保険を維持するためには、医療の効率化、適正化を図ることが必要であると考

えます。平成30年に予定されている診療と介護報酬の同時改定に向け対応します。

児童相談施策を問う

総務部長 ①現在14社28品を認定し、知名度アップに努めています。
②潜在住民に対し、転入を促すことは定住人口を増やす一つの方法。先進の事例を調査、研究をしていきたいと思

問 ①宇都宮乳児院および栃木県児童相談所の入所状況は。
②相談種別受付状況は。

民生部長 ①宇都宮乳児院への入所児童は1人。児童養護施設へは16人です。
③虐待に関する相談対応件数は。
④児童相談所との連携、町の関わり方の方向性を伺う。

②知的障がいと虐待を含む相談が半数を占めています。
③28件です。
④児童相談所では専門性の高い困難事案への対応や町では児童虐待の予防、早期発見と役割を果たすため専門職の配置が義務付けられました。

シティプロモーション

「都市・地域の売り込み」

- ・ 売り込むためには、「誰」(対象層)に対して、「何」(コンテンツ)を売り込むかを明確にしないといけない。
- ・ その売り込む「誰」は、どの「地域」に多いのか。その「誰」はどのような「メディア」を見ているのか。この「誰」の持つ特徴をしっかりと把握しないといけない(戦略性が求められる)。
- ・ 誰・何・地域・メディアの明確化が大切である。

各常任委員会の閉会中における所管事務調査報告

各常任委員会での調査結果については、12月定例会初日の本会議において、各常任委員長が報告しました。

教育民生常任委員会

当委員会では、議会閉会中において「国民健康保険の制度改革及び介護保険制度の改正について」の調査を実施しました。

国民健康保険の制度改革について、国は国民健康保険を持続可能なものとするため、平成27年に「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法の一部を改正する法律」を成立させ、現在、制度改革が進められており、改革の内容で、町の国民健康保険にとって大きな影響があるのは、「公費の拡充」と「国保財政運営の県単位化」となります。民生部住民課から①国保が構造的に抱える問題②財政支援の拡充③国保運営の県単位化について④納付金制度⑤栃木県の方針の順に説明を受けました。

次に、民生部健康福祉課から「介護保険制度の改正について」①新たな介護保険施設の創設②利用者負担割合の見直し③介護納付への総報酬割の導入④保険者機能の抜本強化⑤地域密着型通所介護に係る指定⑥居宅サービス等市町

村の関与に関する説明を受けました。

質疑応答を経て、委員会として、国保制度改革については、引き続き国や県の動向を注視しつつ、適正な対応をしてもらいたい。介護保険制度については、今回の介護保険制度の改正は、保険者機能の強化が盛り込まれている中で、増大すると見込まれる保険給付を、適正に必要な方々へ給付するよう要望をいたしました。

教育民生常任委員会
委員長 遠藤 恭子



建設経済常任委員会

当委員会では、議会閉会中において「みぶハイウェイパークの現状と今後の事業計画」についての調査を、建設部都市計画課からの事業説明と現地調査に分けて実施しました。

まず、ハイウェイパークで開催されるイベントについては、町主催の「みぶの日」イベントや、今年からこちらでの開催となった商工会の「産業まつり」のほか、様々な団体や個人が毎週のようにイベントを開催しているとのことでした。

次に、先行して公募となった農産物直売所については、オープン当初は少なかった壬生産の商品も現在は十分提供されており、価格についても農家の方が自分で決めているとのことでした。なお販売手数料は現在20%ですが、売り上げが伸びれば還元していく予定もあると説明がありました。なお他の売店と食工房についても平成30年度には公募をする予定です。

また、みらい館とおもちゃ博物館、わんぱく公園の回遊性については、連絡協議会を作り活性化に繋がる手法を検討中だそうです。

最後に委員会として、民間とのタイアップや魅力的な商品の開発を支援することで来場者増に繋げるよう、また、情報発信基地であるハイウェイパークがしっかりと壬生の名前をPRするよう要望しました。

建設経済常任委員会
委員長 田村 正敏



視 察 来 町

熊本県大津町議会が視察

10月18日、熊本県大津町議会総務常任委員会の皆様が「デマンドタクシーみぶまる」についての視察研修のため来町され、情報交換や意見交換を行いました。



岩手県山田町議会が視察

11月11日、岩手県山田町議会の皆様が「道の駅みぶ」の運営や防災の取り組みについての視察研修のため来町され、現地視察や情報交換などを行いました。



議員研修会に参加



新川 達郎 氏



山田 恵資 氏

11月17日、県町村議会議長会主催の議員研修会が宇都宮市で開催され、県内多数の町議会議員が参加しました。

研修会では、同志社大学大学院教授の^{にいかわたつろう}新川達郎氏の「町村議会活性化と改革の課題」、時事通信社解説委員長の^{やまだけいすけ}山田恵資氏の「政治の行方を展望する」と題する講演があり、議会活性化への取り組み方や、今後の政治の動向などについて熱心に研修しました。

議会への請願(陳情)の出し方



皆さんからの要望を町政に反映させる方法として、請願書・陳情書の提出があります。

提出にあたっては、次の事項に注意し、右の記載例を参考にしてください。

- ◆請願書・陳情書には、要旨と理由・要望事項を簡潔かつ具体的に書いてください。
- ◆請願書は、1人以上の紹介議員が必要です。
- ◆請願書・陳情書の提出者は、趣旨説明として意見陳述を行うことができます。受付時にお申し出ください。
- ◆受付締切日は、議会運営委員会の前々日となります。

※詳細は下記へお問合せ下さい

壬生町議会事務局
TEL 0282-81-1865

請願(陳情)書の記載例

〇〇〇〇〇に関する請願書(陳情書)

紹介議員 氏名 □□□□ ㊞

- 1 請願(陳情)の要旨
(請願・陳情しようとする内容を簡潔に、分かりやすく書く)
- 2 請願(陳情)の理由及び要望事項
(請願・陳情しようとする理由・要望事項を具体的に書く)

平成 年 月 日

壬生町議会議長 様
請願(陳情)者

住 所
氏 名 ㊞
電話番号
(法人・団体等の場合は名称と代表者名)

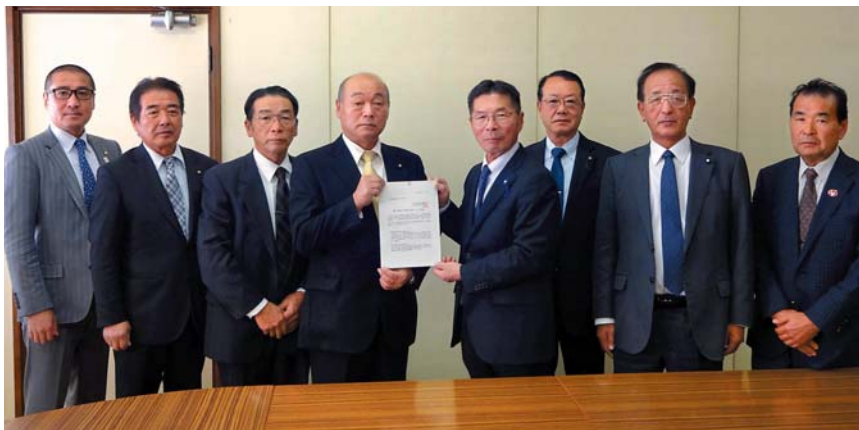
※陳情書の場合は、紹介議員は必要ありません

議長へ答申書を提出 請願・陳情者の意見陳述制度を導入

議会運営委員会は、5月に議長から諮問がありました「請願・陳情者の意見陳述の実施」に関して、慎重審議を重ねた結果、提出者がこれらを提出するに至った思いや、意見を述べることのできる機会を与えると同時に、委員会における審議を深めるために有効であることから、導入の必要性はあると判断しました。

また、制度の基本的事項については「壬生町議会請願・陳情者の意見陳述実施要綱」を策定し、11月24日に議長へ答申として提出しました。

(その後、全員協議会に諮り、全議員一致で賛成となりました。)



表紙写真の説明

ボルダリングのまちへ

平成29年12月13日、おもちゃ博物館にてクライミングウォールお披露目式が行われました。

壬生町は、平成34年「いちご一会とちぎ国体」のボルダリング会場となっており、地方創生事業を活用して、町体育館や全ての小中学校等にクライミングウォールを設置しました。ボルダリングの機運を高め、スポーツ振興やまちの活性化へと繋げていきたいと思います。

田村正敏

編集後記

寒さが一段と厳しくなりました。

ウィンタースポーツも花盛りの季節を迎え、日本女子スピードスケートで世界新記録を連発するなど、韓国平昌冬季オリンピックでの日本選手の活躍が大いに期待されるところで

す。
我々広報委員の任期も残りあとわずかになりましたが、これからも、皆様に読んでいただける、愛される議会だよりになるよう努めてまいります。ご意見等をお願いいたします。

二〇一八年も皆様にとりまして、素晴らしい年となりますようにお祈りいたします。

河野辺恒雄

議会広報特別委員会

委員長	坂田 昇一
副委員長	河野辺恒雄
委員	小牧 敦子
”	田村 正敏
”	遠藤 恭子

お詫びと訂正

議会だより 182号、一般質問Q&Aについて、誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

P14 誤問 北部第3雨水幹線の南側の雨水対策は。 正問 北部第3雨水排水区の南側の市街化調整区域の雨水対策は。

あなたも議会を傍聴してみませんか

次回の定例会は **2月26日(月)** からの予定です。
特に事前申込みは必要ありません。

一般質問をする議員、質問内容や質問順序は、開催日近くに
壬生町ホームページ > 議会の紹介 > 傍聴の案内にてご覧になれます。